

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	518	保健事業(市単分)	01	01	一般会計
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	04	04	衛生費
担当部課名		島ヶ原支所 健康福祉課	01	01	保健衛生費
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	01	保健衛生総務費
				102	保健事業
				06	保健事業(市単分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	20歳以上の住民	疾病の早期発見や健康状態の把握に役立てることができ、健康づくりにつながる。 日々健康に自信を持って生活する。
本年度事業内容	複数のがん検診と若年者の健診を同時に実施する総合健(検)診を2日間実施(うち1日は休日)	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.15	0.15	0.15
人件費合計(A)	1,080	1,080	1,080
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	13	15	15
役務費	13		
報償費		15	15
その他			
合計(A+B)	1,093	1,095	1,095
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担	142	169	169
その他特財			
一般財源	951	926	926
上記①～③に関する特記事項			
がん検診については検診委託料は本庁支払いであるが、検診料は支所で入金しているため。			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
がん検診延受診者数	人	745	760	770			
若年者健診受診者	人	16	27	25			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
胃がん検診受診率(伊賀市全体)	対象者のどの程度が受診しているかで健康への関心の高さを判断する	%	3 目標 (3)	4	5
乳がん健診受診率(伊賀市全体)	対象者のどの程度が受診しているかで健康への関心の高さを判断する	%	12.1 目標 (12)	13	15

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

休日に検診日を設定したり、複数の健診を同時に実施した結果受診者増につながった。しかし、依然として受診率が低く受診に対する何らかの啓発が必要と考えられる。
また、17年度までは健康21事業で実施していた「こころの健康づくり」教室について、住民の方から要望があるため、18年度からは市単事業として継続していく予定である。

評価	必要性	4	事業拡大が必要である。 ガンをはじめとした疾病の早期発見には健診は欠かせないものである。受信希望者も多く今後実施方法、実施回数等検討し市民の要望に応じていく必要がある。また、健康21推進事業で取り組んでいたこころの健康づくりについての事業実施を行なう。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A